

# 空家対策で新資格検討

## コンサル協が総会 林会長を再任

公認不動産コンサルテ

ィングマスター有資格者らで組織する全国不動産コンサルティング協会（林直清会長＝写真）は8月27日、東京都内で定時総会を開催。会員のスキルアップのためのセミナー開催や会員増強などを柱とする新年度の事業計画を決めた。

スキルアップでは、年



1回東京で開催する実務

セミナーを例年通り開催するほか、新たに地区や支部など地域単位で行う研修会の支援も計画する。組織強化では、前期末（13年5月31日）に561人だった会員を増やして700人規模までの拡大が目標。全都道府県に地区または支部組織の設置を目指す。

このほか、公認不動産コンサルティングマスターの社会的認知と協会活動をPRしたり、11月11日の不動産コンサルティングの日にあわせ無料相談会、消費者セミナー開

催を予定している。

また、中古住宅流通の活性化や空き家増加問題といった社会的ニーズに対応した協会認定資格制度創設を検討するため、特別委員会を設置することも決めた。

任期満了に伴う役員改選では、林会長を再選。

副会長は手塚克巳、岡本秀巳の両氏を選出した。

林会長は「国の重点施策である中古住宅流通の活性化はコンサルティングで活躍できる分野だ。勉強会などを通じて空き家の増加といった社会問題にも、協会認定資格の創設を視野に取り組んでいきたい」とあいさつした。